

【安心して働き・暮らせる三浦半島】を目指し政策・制度要求と提言を提出

～10月14日に横須賀市、18日に鎌倉市・逗子市・葉山町・三浦市に提出～



鎌倉市

三浦半島地域4市1町に対して2023年度に向けた政策制度要求と提言を10月14日に横須賀市、18日に鎌倉市・逗子市・葉山町・三浦市を訪れ、三浦半島地域4市1町提出するとともに、意見交換を実施しました。

18日は9時からスタートし、鎌倉市松尾崇市長、10時10分から逗子市桐ヶ谷覚市長、11時30分から葉山町山梨崇仁

町長、14時から三浦市吉田英男市長に「働くことを軸とした安心社会の実現」に向けて、「2023年度に向けた政策・制度要求と提言」を提出しました。

三浦半島4市1町への統一要求では、地域活性化策や福祉政策・防災政策・投票率向上など計13項目を列举し、新規として『喫煙マナー向上』『投票率向上』などを新たに求めました。

また、自治体ごとへの個別要求では、横須賀市・三浦市へは人口減に対応した商店街活性化策や



逗子市

国道357号延伸、鎌倉市へは深沢新駅について、逗子市には駅前開発、葉山町には免許自主返納対策などを求めました。

最後に要求と提言については各市町だけではなく、三浦半島4市1町で連携や協力出来ることは一緒に行い、三浦半島全体に効果が波及できるように要請をしました。



葉山町

また、政策制度要求度提言の実現に向けて4市1町政策制度首長懇談会への出席をお願いしました。

各自治体からは12月末に回答を頂く予定になっていません。

三浦半島地域の各自治体との連携を強化して『働くことを軸とした安心社会の実現』に繋げていきます。



三浦市